企画

企画委員会より

内外ＢＭ市場動向

企画委員長　吉田　洋一
（株式会社　エムジー）

企画委員会では、２００９年度の会員会社からの報告、世界ボンド磁石討論会などで出されたデータを基に２０１０年度の年初にボンド磁石の生産・市場動向のまとめを作成しております。大分類としてフレキシブル、リジッド、希土類の３分類、中分類として映像・音響、回転、ＯＡ、家電、自動車、吸着・雑貨の６分類を用途別にしております。また２００８年までは翌年の業界需要見込みを推定し、報告しておりましたが、２００８年のリーマンショック後の金融危機の影響などで需要見込みの推定が困難となりました。本年も２００９年と同様業界需要見こみの作成と報告を断念させて頂きますことに、ご理解を頂きたくお願い致します。

２００９年度のボンド磁石は国内業界全体で重量で８，５６０トン（前年比70％）、金額で１６１億円（前年比６９％）でした。２００９年を通してみると、１Ｑは前年の金融危機の影響が大きく大幅な減産となり、その後回復に向かいましたが、前年比では大幅に減少しました。２００９年後半から回復に向かっていることから、２０１０年度は増加を期待できると思われます。

分類別

フレキシブルフェライトボンド磁石

２００９年度は重量で２，５３０トン（前年比70％）、金額で１９億円（前年比70％）でした。ほぼすべての分野で減少しましたが、２０１０年度は主要用途である吸着・雑貨を中心に回復が期待されます。

リジッドフェライトボンド磁石

２００９年度は重量で５，６７０トン（前年比70％）、金額で８４億円（前年比70％）でした。ＯＡ分野の減少が最大の要因ですが、２００９年後半は回復基調にあり、２０１０年の増加が期待できると思われます。

希土類ボンド磁石

２００９年度は重量で３６０トン（前年比69％）、金額で５８億円（前年比６６％）と推定します。モータ用・自動車用の減少が大きいと思われます。自動車にはセンサー・モーターで使用数が増加していますので、希土類ボンド磁石の使用量は確実に増加するだろうと思われます。モーター用は海外メーカーとの厳しい競合になると思われます。

２００９年度日系メーカーボンド磁石生産推定

	国内		海外		合計	
	金額（億円）	前年比（％）	金額（億円）	前年比（％）	金額（億円）	前年比（％）
フレキシブルフェライトボンド磁石	19	69	5	40	24	60
リジッドフェライトボンド磁石	84	70	42	46	126	60
希土類ボンド磁石	58	66	182	70	240	69
合計	161	69	229	63	390	65

企画委員会より

ＢＭ業界推定

企画委員長　吉田　洋一
（株式会社　エムジー）

２００９年度の国内需要推定は重量で８，５６０トン（前年比70％）、金額で１６１億円（前年比70％）でした。２０１０年度の業界需要見込みの作成は２００９年同様断念せざるを得ない状況にあります。

フレキシブルフェライトボンド磁石

２００９年度は重量で２，５３０トン（前年比70％）、金額で１９億円（前年比70％）でした。ほぼすべての分野で減少しました。海外メーカーとの競合のなかで、今後も厳しい状況と思われます。

リジッドフェライトボンド磁石

２００９年度は重量で５，６７０トン（前年比70％）、金額で８４億円（前年比70％）でした。ＯＡ分野の用途の減少が最大の要因です。プリンタ・ＰＰＣ・ＬＢＰなどのＯＡ機器の市場回復次第と思われます。

希土類ボンド磁石

２００９年度は重量で３６０トン（前年比69％）、金額で５８億円（前年比６６％）と推定します。モータ用・自動車用の減少が大きいと思われます。従来の希土類ボンド磁石用磁粉の他に国内メーカーで開発した磁粉を使用するボンド磁石の増加が期待されており、車載用途の増加もあって、希土類ボンド磁石の増加が期待されます。